



朝日学生新聞社 × arcterus

中高生の勉強へのSNS活用状況調査

3割が勉強専用アカウントを持ち、閲覧

ゆるい繋がりを「質問」「記録」「モチベーション」に活用

株式会社朝日学生新聞社（東京都中央区、代表取締役社長・脇阪嘉明）とアルクテラス株式会社（東京都世田谷区、代表取締役社長・新井豪一郎）は、中学生・高校生を対象にアンケートを実施し、SNSを勉強にどう役立っているかを調査しました。

アルクテラスが運営する勉強ノートまとめアプリ「Clear（クリア）」ユーザーを対象にインターネット調査を2017年6月18日～26日に実施、中高生ら1328人から有効回答を得ました。回答者のうち中学生は42%、高校生は56%、男性が23%、女性が76%です。

「SNSが勉強に役立っている」は9割

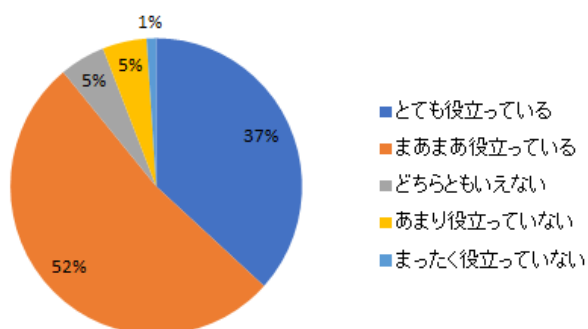
勉強に使っているSNSはTwitterが1位、Google+やLINE Qも

調査対象がClearのユーザーということもあり、SNSを勉強に活用するのは当然のことのようです。勉強に「とても役立っている」は37%、「まあまあ役立っている」が52%、合わせて89%がSNSは勉強に役立っていると答えています。

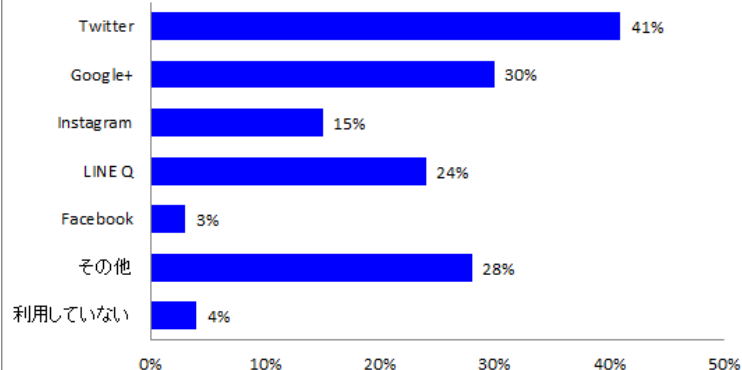
使っているSNSを複数回答で答えてもらったところ、Twitter（ツイッター）が回答数549（41%）、Google+（グーグルプラス）が392（30%）、LINE Q（ラインキュー）が319（24%）、Instagram（インスタグラム）が194（15%）、Facebookが42（3%）でした。その他367（28%）はClearなどの勉強アプリ、YouTubeなどの動画サイト、Yahoo!知恵袋などです。

実名が基本のFacebookではなく、匿名性の高いツイッターやグーグルプラスで「ゆるく」繋がっている中高生の姿がうかがえます。

グラフ1：SNSは勉強に役立っているか



グラフ2：勉強に使っているSNSは何ですか（複数回答）



【取材等のお問い合わせ先】 朝日学生新聞社 広報・教育メセナ部

〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 TEL.03-3545-5223 FAX.03-3545-0978

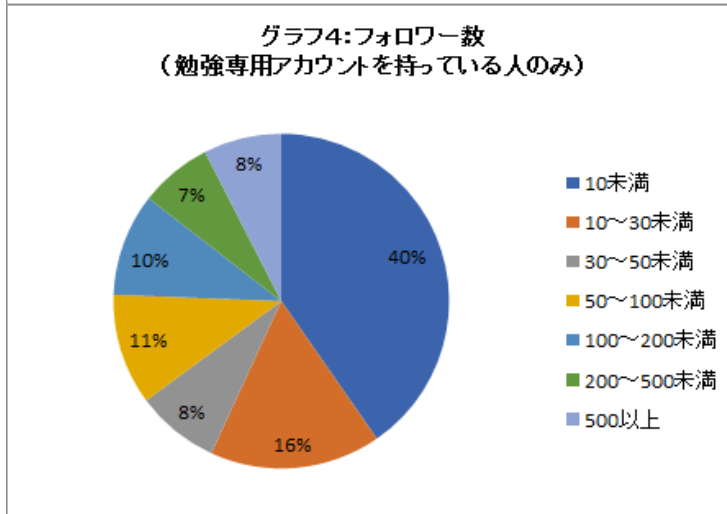
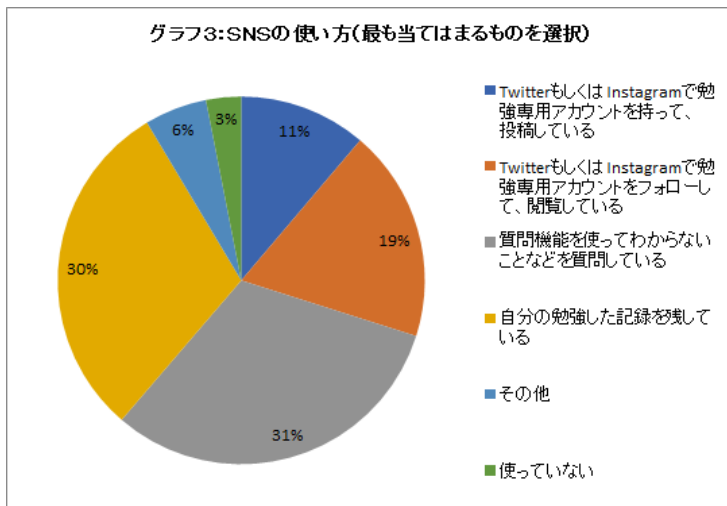
メール：home@asagaku.co.jp

www.asagaku.com

**使い方は「わからないことを質問する」「自分の勉強した記録を残す」が3割ずつ
「勉強垢」の利用も3割**

SNSの使い方について、最もよく使う方法を一つだけ選択してもらったところ、「質問機能を使ってわからないことなどを質問している」が417（31%）、「自分の勉強した記録を残している」が400（30%）。グラフ2の結果とあわせ、ツイッターやグーグルプラスで勉強の記録を残し、LINE Qで多数のユーザーに質問を投げかけるといった勉強スタイルが見取れます。

最近では「勉強垢」と呼ばれる勉強専用のアカウントがツイッターやインスタグラムで多く見られます。志望校や試験の目標、勉強の進捗などを記入したり、ノートや文房具などの写真を載せたりするアカウントのことで、「勉強垢さんと繋がりたい」などのハッシュタグも見られます。「勉強専用のアカウントを持って投稿している」人は149（11%）と、あまり多くありませんが、他人の勉強専用アカウントをフォローして閲覧している人は248（19%）で、3割の中高生は「勉強垢」を利用していることがわかります。また、「勉強垢」を持っている人のうち、フォロワー数は30未満が過半数ですが、25%はフォロワー数が100以上で、人気を集めていることがうかがえます。



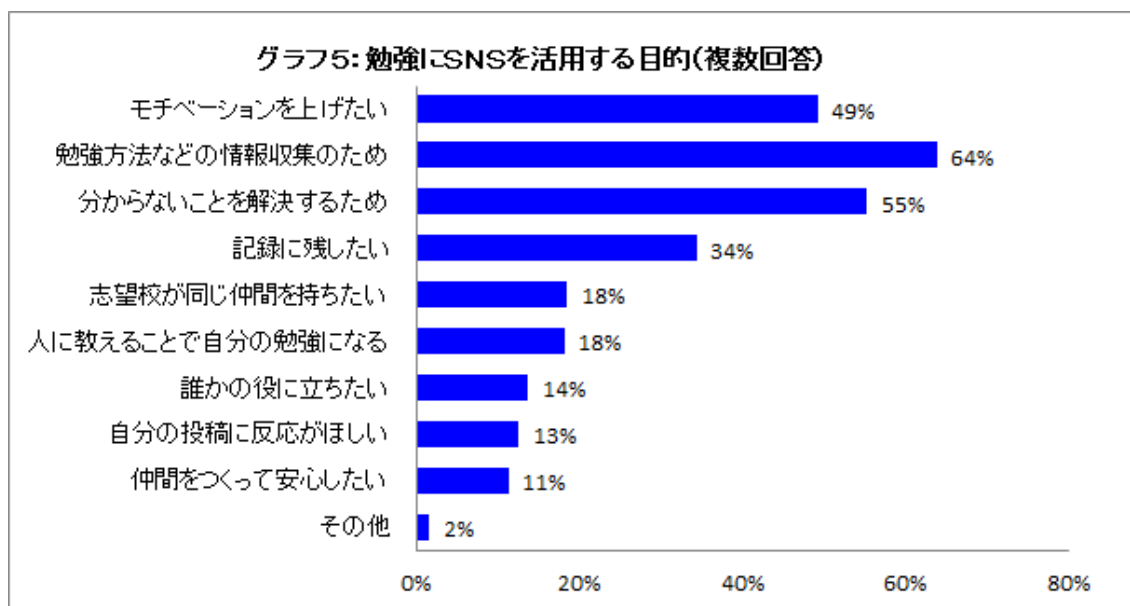
「勉強垢」の例



SNSを使う目的は「情報収集」「モチベーションを上げる」「わからないことを解決する」

勉強にSNSを使う目的を複数回答で尋ねたところ、「勉強方法などの情報収集のため」が848（64%）、「わからないことを解決するため」が734（55%）、「モチベーションを上げたい」が653（49%）、「記録に残したい」が456（34%）でした。

SNSが発達していなかった時代、中高生は学校や塾、図書館などリアルな場所で勉強仲間を作り、励まし合っていました。現代の中高生は、SNSで非リアルな勉強仲間を作り、「ゆるい繋がり」を励みに勉強していると言えます。



【回答者の属性】

